

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	75	学校名	仙台市立茂庭台小学校	校長名	及川 卓也
------	----	-----	------------	-----	-------

1 テーマ①「食品ロスを少なくしよう」



テーマ②「節電・節水を心がけよう」

2 取組の紹介

(1) はじめに

本校では、令和3年度より上記のテーマ①を設定して学校全体で給食の食べ残しを少なくするための取組を推進してきました。取組を進めていく中で「できるだけ残さずに食べる」という意識が児童の間で年々高まり、特に高学年に関しては残食がほとんどなくなりました。今年度は、低学年児童に対し「残食を減らそう」という意識を更に高め、中・高学年児童には低学年児童の模範となる態度を養うというねらいのもと、全校で継続して活動することになりました。

テーマ②については、昨年度からの取組です。まず職員が廊下、トイレ、教室の蛍光灯の消し忘れや、蛇口の閉め忘れなどがないように行動で示し、児童にもエネルギー資源を無駄にしないよう働き掛けています。

(2) 取組の具体例

<テーマ①について>

- 各教室にテーマ①とそれに関連した前年度の標語の作品を載せたA3サイズのカードを掲示しました。
- 低学年では、担任が「給食を作ってくれる人がいる」「動植物の命を頂いている」という話を児童に聞かせました。
- 「給食週間」に合わせて給食委員会が中心となり4～6年生を対象に「食品ロス問題」に関する標語を募集しました。

<テーマ②について>

- 各トイレの入り口に「節電・節水を心がけよう」の掲示物を貼り、「節電・節水」に対する意識を高めました。
- 廊下や通路の照度が自然光により十分に確保されているときは、廊下や通路の蛍光灯を消すようにしました。



3 取組の成果（児童の変容）と課題

- 低学年では給食を完食する児童が増え、全校での取組期間が過ぎても継続してカードを掲示し活動に取り組んでいました。学校全体でも残食量が昨年度に比べて更に少なくなりました。
- 中学年では「残食を減らさなければ」と、以前よりも給食を残さずに食べる児童が増えました。
- 高学年では給食委員の児童が教室で「残食を減らそう！」と進んで呼び掛けていました。
- 「フードロスをなくすことが、食料自給率の低下を食い止めることにつながる」と自主的に調べ学級で発表した高学年児童がいました。このように、今後は単に給食を残さないだけでなく、食品ロスと他の社会問題との関連性などにも児童の関心を向けさせていきたいです。
- 標語の募集では「食品ロス問題」に関わる多くの作品が集まりました。(以下入賞作品)

「伝えよう 食缶の軽さで ありがとう」(5年生)

「給食を 残さず食べるよ がんばるよ」(4年生)

<以上 テーマ①について>

- トイレや廊下の蛍光灯が必要なく点いていることが学校全体で前年度よりも少なくなりました。
- 特別教室などで授業の間に誰もいない教室の蛍光灯が点いたままのことがあり、職員打合せで全員で気を付けて節電に努めていくことを確認し合いました。

<以上 テーマ②について>